

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人プラナの森 はるにれ園				公表日	令和 8年 3月 9日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・利用人数やお子さんの様子によって活動を分けるなどし、安全確保を行っている。	物置になっているスペースがある為、早急に活用していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・グループを分けて無理なく支援を進めている。	会議や研修等があると、個別対応が必要なお子さんがいる時には手薄になる事がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	・カードを使用し、視覚的に提示している。	バリアフリーには適応できていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日清掃を行っている。 ・お子さんの状態に合わせて活動内容を調整している。	引き続き、こまめな清掃や整理整頓を心がけ、心地よい環境を保つ。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・お子さんの状況に合わせて個別になる事ができる部屋を常に用意している。	物が多く、上手く活用できていない部屋がある為、早急に改善していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・毎朝のミーティングでその子の振り返りや課題だった点、様子等を共有している。 ・伝達シートを活用して周知している。	お休みだった職員に情報が共有されていない時がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・保護者の方のアンケートを基に業務改善に繋げている。	常に保護者の方の声に耳を傾け、改善していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・月に一度の園内研修や毎日のミーティングで情報共有する場を設けている。 ・職員面談を実施している。	これからも職員同士の意見を大切に、改善に繋げていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	86%	14%	・見学に来ていただいた方々から、はるにれを利用したいと声を頂く事がある。	評価機関への依頼を検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・職員が平等に外部研修に参加できるよう調整している。	研修を受けた職員は、他の職員にも情報を共有する事で更なるスキルアップを図る。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	86%	14%	・支援プログラムを作成している。	個別支援計画で作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・保護者のお話や、お子さんの様子をアセスメントして計画を作成している。	今後もお子さんに合った支援を具体的にしていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・全職員で話し合い、共通理解しながら支援計画を作成している。	今後も引き続き行っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・すぐ計画を確認できるよう療育記録に記載し目標を意識して療育を進めている。	引き続き、職員間で支援内容を共有し療育を行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・医療機関での検査結果なども参考にしている。	引き続き、病院からいただいた書類や独自のアセスメントツールを使用し、現状把握に努めていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・個々の個別支援計画に支援内容を取り入れ、具体的に配慮している。	今後もガイドラインを踏まえて支援に必要な内容を設定していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・チームで話し合い、活動の内容を考える事ができている。	引き続き全職員でミーティングをしてその日のプログラムを立てていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・担当職員を変え、メリハリをつけながら様々な活動内容にしている。	外出、散歩等の活動も入れていく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・お子さんの状況に応じて個別での対応や自立課題、対面課題を取り入れて支援している。	引き続き、お子さんに合わせて計画作成し、支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎日必ずミーティングを行い、確認を行っている。	引き続き、内容を確認して行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	・支援記録を作成する際、振り返りを行っている。	気付いた時に情報を共有していけるようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・毎日記録を徹底している。	改善点については、ミーティングで話し合っ て決めて行く。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年ごとにモニタリングを実施し、保護者からお話を伺い、必要に応じて見直し等をしている。	今後も定期的なモニタリングを行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	83%	17%	・制作活動、余暇活動等取り入れて行うことができています。	季節行事はできていたが公園遊びが少なかった為、今後は多く取り入れていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・お子さんの思いを尊重し、スケジュールの組み立てを行っている。 ・読み聞かせの本を一緒に選んでいる。	これからもお子さんの気持ちを尊重して支援していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・担当の指導員が資料を作成し全職員で確認し会議に参加している。	今後も担当の職員が参加していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・言語聴覚士や主治医の助言をいただき、支援の内容を整えている。	今後も助言をいただき、支援内容を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・月に1回必ず下校時刻表をいただき、送迎支援を行っている。	下校時刻や迎えの場所の情報に相違がないよう、細心の注意を払って送迎支援を行う。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・お子さんの園の様子等を支援会議や保護者を通して情報共有している。	これからもお子さんの利用していた事業所の様子を確認しながら支援していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	担当者会議の際にお子さんの様子をまとめ引継ぎをしている。	引継ぎ会議や担当者会議に今後も参加していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	・積極的に研修に参加している。	これからも積極的に参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	43%	57%	・夏祭り地域のお子さん、同法人の事業所のお子さんを招いて開催した。	今後も積極的に交流できる場を提供していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	86%	14%	・積極的に参加し、情報を得ている。	協議会等へ参加できていない職員が多い為、積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・連絡ノートの活用、面談を通して共通理解を図っている。	今後も連絡ノートを活用して、普段会えない保護者に対しても丁寧伝えていく。面談の機会も設けていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	86%	14%	・ペアトレは行ってないが保護者会を開催して悩み等共有できるようにしている。 ・他の研修の案内を行った。	これからも保護者会を定期的に開催する。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	86%	14%	・契約時に行っている。	必要に応じて説明する機会を設け、よりよい支援を目指す。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・お子さんや保護者の意思を尊重して支援を行っている。 ・保護者に意向を確認している。	引き続き、保護者の方やお子さんの意思を尊重した計画の作成を心がけていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・保護者に直接支援内容の説明を行い、計画を作成している。	お子さんの支援内容を保護者と確認しながら計画を作成していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・悩みがある場合はすぐに面談日を打診し面談している。こちらからも保護者にお声掛けしている。	今後も悩み等がある場合、迅速に面談を設け対応していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・保護者会を年に計画・開催し、保護者同士やきょうだいの交流の機会を設けている。	きょうだい同士で交流する機会も増やせるよう行事計画を作成している。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・今年度、苦情はなかった。	今後、苦情があった場合は、周知・対応を迅速に行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・玄関に写真の掲示・お便り・ホームページ等、園の様子を発信している。	今後も定期的に情報を発信し、園の様子を見ることができるように行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・鍵のついたキャビネットに保管している。	今後も十分に取り扱いに注意していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・口頭だけではなく連絡メールやノートを活用し、家庭に合わせた対応をしている。 ・お子さんにはジェスチャーや絵カードを提示している。	今後も引き続き行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	83%	17%	・夏祭りへ招待した。 ・年末に挨拶回りを行っている。	来年度も夏祭り等行事に招待し運営していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・年間行事に避難訓練（火災・不審者・地震・通報訓練等）の予定を入れ、マニュアルを掲載して行っている。	実施できる時期に避難訓練を予定し、マニュアルに沿ってこれからも行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・BCP研修を行った。	備品・備蓄に関して今後話を詰めていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・アセスメントシートへの記入と、検査結果の提出をお願いしている。 ・服薬がある時は随時お知らせ頂き情報共有している。	必要に応じて対応する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	86%	14%	・アセスメントシートに記入と、検査結果の提出をお願いしている。	必要に応じて対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・お子さんも理解ができるよう視覚提示を取り入れながら計画を作成し定期的実施している。	お子さんの動きも想定して計画書を作り、安全に訓練ができるよう配慮していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・避難訓練や安全指導について年間計画等で周知している。	引き続き周知し、家庭との連携を図っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83%	17%	・ヒヤリハットの事例があった際には、必ず報告書を作成し、再発防止の為周知している。	今後も報告書を通して、ミーティングで検討していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・虐待防止の研修を職員が受け、報告書を作成し、全体周知している。	今後も研修を受け適切な対応をしていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86%	14%	・計画書に記載している。	身体拘束となることがないよう職員間で意識を高め、法人内での決定に従う。